

岩手教区報

第350号
 立教185年2月1日
 天理教岩手教務支庁
 盛岡市馬場町3-40
 TEL 019-622-7962
 FAX 019-623-9597



自然界からの学び
 県南支部長 千葉道雄

2月4日は立春、春が始まる日とある。当地方に於いては啓蟄が過ぎ、春彼岸あたりから徐々に暖かくなってくる。今月の花の代表格とも言える福寿草の花言葉は「幸せを招く」「永久の幸福」とある。この花言葉の如くに、一日も早くコロナと決別し、人々に福寿草にも似た笑顔と日常が戻ることを願うばかりです。

さて、昨年も災害の多い年だった。国内外問わず、記録的とか観測史上最大、過去に例を見ないと言われよう災害が多数発生した。インドでの豪雨と洪水、トルコ・アメリカでの大規模山林火災や竜巻など。国内では北陸の大雪に始まり、九州西日本を中心とした大雨、洪水、そして熱海市で発生した土石流など、そのたびに尊い命が奪われた。年が明けてからも、日本海側の大雪、南太平洋トンガ沖の海底火山の噴火等。もはや、地球全体が悲鳴を上げているのではないかと危惧される。「天災は忘れた頃にやってくる」が、今や完全な死語となった。何故にこのような災害が矢継ぎ早に起きるのだろうか。「みなせかいのむねのうちかぐみのごとくにうつるなり」とお教え頂くからには、全ては神様からのメッセージであろう。

かみなりもちしんをふかぜ水つきも
 これわ月日のざねんりいふく (八 58)
 このさき八月日のざねんりいふくを
 みなはらすでなこれがしよちか (十三 35)
 『すきと36号』に、イルカさんがこんなコメントをされていた。「世界で起こる異常気象や自然災害、それに今日のコロナも、何か目に見えない大自然のようなものによる人間への教育なんじゃないかと思うんです。(中略)地球には様々な生き物がいて、みんな大自然のなかで生かされています。大自然というものは、人間の思い通りにはならないものです。」これを目にした時、正に的を得ていると、頭が下がった。それがしても「教育」とは恐れ入った。

この世は親神様の懐住まい、すべて見抜き見通しであられる。災害や人災、凶悪な出来事が少しでも減る手立てはと考える時、お道を通るお互いは、おつとめで願うのは勿論のこと、陽気ぐらしのキーワード、「感謝 慎み たすけ合い」の実践以外にない。

今年寅年、虎にあやかり千里には程遠いが、一歩一歩自覚の元、懐住まいに叶う行動を心がけたい。



「才能と努力」

「努力にまさる天才なし」とは、古来よく言われてきた言葉である。いかなる天才も、どんなに能力があっても、努力する人には叶わないという事である。

今や話題のスポーツマン、一人は野球の米大リーグ、ロサンゼルス・エンゼルスの大谷翔平選手(岩手県奥州市出身、花巻東高校卒)。もう一人はWBA世界ミドル級スーパー王者に君臨する村田諒太氏に注目したい。両人とも努力家にあふさわしく、常にめざすものを持ち全力を尽くす人生を歩んでいる。

さて、大谷翔平選手は昨年ア・リーグ最優秀選手(MVP)に選ばれ、コロナ禍で暗澹とした世界中に明るさと勇気を与えてくれたことである。メジャー4年目の大谷選手は、昨年、投手で9勝2敗、156奪三振、打者では46本塁打、100打点、

26盗塁と、投打の「二刀流」で歴史的な活躍を見せてくれた。奇しくも東日本大震災から10年目の年、被災県の一つ岩手が復旧段階から新たな復興のステージに飛躍する、正にそのタイミングでの朗報になったことである。復興元年ともいべきこの年に、大谷選手の活躍は多くの人に多大な感動を与えた事に相違ない。

さて、野球の大谷選手とボクサーの村田氏に共通するもの、それは弛まぬ向上心と逞しい努力である。村田氏は2012年ロンドン五輪ボクシング・ミドル級で日本人初の金メダルを獲得。現在、世界ミドル級王者である。新たな道を切り開いていく根本は自己決定力があるかないかにかかっている。自分でやる決めて練習日誌に書いたメニューは、どんなに辛くとも打ち克ち毎日やり抜くことに徹している。目の前に与えられている環境の中で誰もやれない、やらないことも、誰よりも圧倒的にやる。コツコツ努力する人を神様は見ている。結果は出ると実感している。

また、結果が出て、自信になる結果と自信にならない結果とある。努力の過程を自分で肯定出来る場合に、結果が出ると自信になると言える。又、村田氏が心掛けていることは、人より1%プラス

した10%の努力をしたから成功できたと言っている。世界の頂点に立つためには、ある時は挫折経験を乗り越えねばならない事もある。両名に恵まれている比類の特性、能力はもとより、人間性、情感を含めた人格を総合的に評価されて頂点を極めることが出来たと見えよう。

さらに大切なことは、大谷翔平選手を「二刀流」に育てた日本ハムの栗山英樹前監督の指導と、花巻東高校の佐々木監督の存在であろう。村田氏の場合も京都広学館高校の武元先生との出会いである。学校は人間教育の場であり、ただ強くなれば良いというものではないというのが、恩師のスピリットだったという事が根底にあると言えよう。

行事予定 【2月分】

- 2日 主事会(9時)
- 〃 役員会議(10時)
- 9日 学生担当委員会例会 on line(19時)
- 11日 献血呼びかけひのきしん(10時)
- 12日 青年会例会(18時)
- 13日 学生会の集い(10時)
- 20日 女子青年例会(10時)
- 28日 少年会例会 on line(19時)

生としてフランスへ派遣されている櫃割まさ代さん(北三陸分教会所属)を迎え、約2時間にわたりお話を頂いた。

櫃割さんにはパリの天理日仏文化協会から参加頂き、まずフランス共和国の紹介があった。続いて、教会本部の拠点であるヨーロッパ出張所や天理日仏文化協会、天理教ポルドー教会や各布教所の活



教区青年会は、1月15日(土)18時よりオンラインセミナーを実施、8人がパソコンやスマートフォンを利用してお話した。「コロナ禍における海外事情」と題し、講師に婦人会第4次海外人材派遣

「オンラインセミナー」
実施報告



青年会



動について話が進んだ。また、自己主張を重んじるフランスと日本文化の違いが講師の実体験をもとに述べられた。その後、日本語教師の勤めやコロナ禍における現地の生活スタイルなど、多岐にわたる話題を写真や動画を交えてわかりやすくお話し頂き、参加者からの疑問や質問は、その都度講師から回答して頂く形式でセミナーは進んだ。

本年、青年会本部では、ブラジル、コロンビア、メキシコ、タイへの海外人材派遣生が募集される予定となっております。本セミナーは動画データにて保存してありますので、いつでもご覧頂けます。視聴希望の方は教区青年会までご連絡下さい。



※参加者には、後日記念品を配布。参加についての問合せは、学担委員長の権谷正一まで。

学担委員長
LINE招待コード



学担委員長
LINE招待コード

岩手教区学生会(高野慎司委員長)では、左記の通り「岩手教区学生会の集い」を開催します。

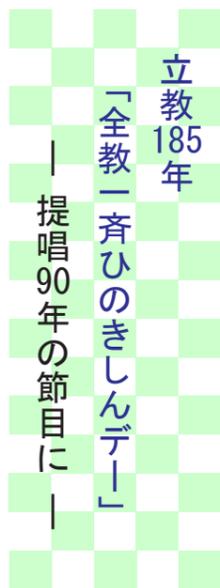
今回は年明けからのコロナウイルス感染状況を鑑み、オンラインにて開催することになりました。卒業や進学、進級など、新たな道に進むこの時期に、お道につながる学生同士が心をつなぎ、次のステージに向かう力を得る集いにしたいと考えています。どうか学生さんにお声がけ下さるようお願い致します。

「教区学生会の集い」

【2月13日】



学生担当委員会



今年「全教一斉ひのきしんデー」が提唱されてから90年となります。この旬に、「全教一斉ひのきしんデー」がその名の通り、全教挙げての取り組みとなるよう、全ようばくへ案内を届けさせて頂きたいと思えます。そして、この活動が来るべき教祖百四十年祭に向けての足掛かりとなるようつとめさせて頂きたいと思えます。

岩手教区では、全ようばくへ漏れなく案内を届けさせて頂く上から、昨年引き続き各教会に参加目標人数を立てて頂きます。今回は提唱90周年という節目の年でもありますので、目標数は昨年の2割増しで設定して頂き、岩手教区全体で千名の参加者を目指すということになりました。

また、教区独自に4月29日より5月29日までを「ひのきしん強調月間」と定めさせて頂きました。この強調月間のひのきしん活動に参加して頂いた方には、教区より記念品をお渡し致します(何回参

加されても毎回お渡し致します)。最終日の5月29日には「ひのきしんフェスティバル」と銘打って、教務支庁を会場に「ひのきしん強調月間」の集大成となる行事を開催致します。この日は、例年4月29日に行っている「献血ひのきしん」を実施し、加えて、教務支庁内外でのひのきしん、お楽しみ催しものなども計画しています。どうか大勢の参加をお願い致します。



少年会

「第48回岩手教区団総会」開催される



少年会では、1月30日、オンラインで教区団総会を開催、少年会員36人(うち中学生10人)、育成会員35人、計71人が参加した。

この日は、教務支

庁が発信元となり、各家庭でネット環境の接続をして頂き、多くの少年会員が繋がった。

まず、加藤昌弘育成会長より「感謝の気持ちをはひのきしんの態度にあらわし、来る4月29日の全教一斉ひのきしんデーと、5月29日のひのきしんフェスティバルに大勢参加してもらいたい」とお話し頂いた。続いてのよろづよ八首は、発信元の地方に合わせて少年会員はおてふり鳴り物をそれぞれにつとめた。少年会長様のご告辞ではおつとめ、ひのきしん、おちばがえりについてお言葉を賜った。その後、全員で少年会員のちかいを唱え、再会を願って解散となった。

